

玉出中学校だより

令和7年6月16日
大阪市立玉出中学校
令和7(2025)年度第2号

新たな学年、一步大人に

学年が1つ上がり、1学期も半分を過ぎ、あと1か月ぐらいになってきました。教室の様子を見ていると、3年生は修学旅行を終え、いよいよ次の進路に向けて、どう進んでいこうかと真剣に考え出している様子がうかがえます。授業にも、昨年度までにはない3年生独特的の緊張感が生まれてきたように思います。

15歳の春は、誰にとっても「選択」の春です。同級生が一緒に歩んできた中学校から、それぞれの道へと進み出す時期になります。それまでに、みんなで声を掛け合って、気持ちを合わせて、「選択」という試練に打ち勝つもらいたいと思います。

2年生は、昨年度よりも随分大人になってきたなという印象をもっています。行動にも落ち着きが見られ、授業でも部活動でも、中学校の中心学年としてふさわしい集団になってきていると実感しています。2年生は進路選択もまだ先のため、中だるみをしやすい時期とも言われますが、3年生になってみればわかるのですが、「頑張るのは今やで！」ということです。心も体も一番伸びる可能性のあるこの時期に、精いっぱい頑張ってください。

1年生は、小学校から中学校という新しい舞台に上がって、戸惑いの中でスタートしたことだと思います。小学校と中学校の違いもたくさんあって、失敗してしまったという人もいると思います。でも、そのたびに、失敗から学んでいる姿が見られます。人は失敗しながら成長するものです。途中であきらめてしまわずに、チャレンジを続けていきましょう。

「道徳」で学んだ隻腕の剣士の生き方にすごいなと思った人も多いと思います。先生は、あなた方が、親を悲しませたくないという気持ちを強く持っていることに感心しました。親はあなたに期待しています。自分の頑張りは親が喜んでくれます。だから、しんどくても頑張れる。そういう気持ちを持っているあなた方は、今後も成長を続けてくれると思います。どんな中学生になってくれるか、どんな力を発揮してくれるか、楽しみにしています。



演劇部、大阪府3位に！

6月14・15日に行われた大阪府中学生演劇祭で、大阪府議会議長賞をいただきました。玉出中学校としても、とても誇らしく、保護者の方々、地域の方々も、とても喜んでくださることと思います。劇のテーマは、戦争と平和について。日本では80年前に戦争が終わりました。でも今、世界のあちこちで戦争や紛争が起きています。日本が戦争に巻き込まれない保証はありません。戦争が人間に何をもたらすか、どうすれば戦争のない世の中になるのか、これは今を、そしてこれからを生きる私たちが考えていくしかありません。

そんな大切なメッセージを贈ってくれた演劇部の皆さん、ありがとうございました。